

## LEXUS 発のライフスタイルメディア 『VISIONARY』リリース

成熟した大人たちへ向け、LEXUS 公式サイト内で提供開始

LEXUSは、ファッショニ、デザイン、アート、音楽、食、ビジネス、テクノロジーなどの様々な分野の情報を独自の切り口でキュレーションしたライフスタイルメディア『VISIONARY』を2017年5月17日（水）にLEXUS公式サイト内にリリースいたしました。

『VISIONARY』は、“未来像を見極め、知の拡張と知的好奇心の充足を目的とした先見的メディア”をコンセプトに、LEXUSが目指すライフスタイルブランドとしての新しい価値観、未来像をお客様と共有するため、ライフスタイルを豊かにする「価値あるオンリーワンの情報」をお届けする独自のデジタルメディアです。



LEXUSは「EXPERIENCE AMAZING」というスローガンのもと、先見性を感じさせるプロダクト・体験を通じてLEXUSの想いを伝えるための世界規模のプロジェクトを実施しており、常に革新的で、新しいAMAZINGな体験を提供し続けるライフスタイルブランドとして、お客様の感性を刺激し続けることを目指しています。

### ■ 「VISIONARY」概要

URL : <http://lexus.jp/magazine/>

VISIONARY編集長にOPENERS初代編集長の山口 幸一氏を、スーパーバイザーにIMA編集長の太田 瞳子氏を招き、様々なコンテンツパートナーと提携し多彩な情報配信を行っていきます。記事は「CAR」「TECHNOLOGY」「EXPERIENCE」「CRAFTSMANSHIP」「CULTURE」「SPORT」の6つのカテゴリで、独自取材や提携メディアからのキュレーション情報、そしてコラムニストによるコラム記事などで構成していきます。

### ■ 「VISIONARY」コンテンツパートナー

- ①2つの海外サイトと提携した、海外コンテンツ輸入  
《海外提携メディア》 NEW YORK TIMES、Stylus

②ラジオ局とのパートナーシップによる音声記事

《音声記事提携メディア》 J-WAVE (81.3FM)

J-WAVE とコラボレートし、ナビゲーター「岡田マリア」による音声記事

「VISIONARY VOICE by LEXUS」を提供。

レクサス公式サイトに加え、J-WAVE 特設サイトでも音声記事を掲載していきます。

URL : <http://j-pod.jp/special/visionary/>



岡田マリア | Maria Okada

1984年、東京生まれ。葉山・鎌倉・南フランスで育つ。2003年にモデル活動を開始。

その後、音楽専門チャンネルのVJとして活躍、国内外のアーティストへのインタビューを数多くこなす、大の音楽好き。ファッショնブランドなどのMCも多く務めている。

2005年、J-WAVE「M+」レポーターとしてラジオデビュー。

以後、「PARADISO」「POP UP!」のナビゲーターを務めた。

作詞家としての顔も併せ持ち、これまで数多くの作品をリリースしている。

日本語・仏語・英語を話し明るくソフトな喋り口調が特徴のパーソナリティ。

### ③定期コラムニスト

小山田裕哉 | Yuya Oyamada

ライター・編集者。1984年生まれ。日本大学芸術学部映画学科卒業後、映画業界、

イベント業などを経て、フリーランスのライターとして執筆活動を始める。扱うジャンルは幅広く、ビジネス・カルチャー・ファッショն・広告・時事問題など、「アイドルから高級ブランドまで」をテーマに、さまざまな媒体で執筆・編集活動を行っている。

著書に『売らずに売る技術 高級ブランドに学ぶ安売りせずに売る秘密』(集英社)

斎藤和弘 | Kazuhiro Saito

編集者。平凡社『太陽』編集部を経て1996年からマガジンハウス『BRUTUS』

編集長、2001年にコンデナスト・パブリケーションズ・ジャパンの代表取締役社長に就任、『VOGUE』の編集長も兼務。2009年末に退社し、フリー編集者・メディア開発コンサルタントとして活躍中。ファッショնブランド論の第一人者。2017年3月まで明治大学特任教授も兼務。

ドミニク・チェン | Dominick Chen

博士（学際情報学）、早稲田大学文学学術院・准教授。NPO コモンスファイア

（クリエイティブ・コモンズ・ジャパン）理事。株式会社ディヴィディュアル共同創業者。IPA 未踏IT人材育成プログラム・スーパークリエイター認定。NHK NEWSWEB 第四期ネットナビゲーター（2016年度）。2016年度、2017年度グッドデザイン賞・審査員兼フォーカスイシューディレクター。

中村孝則 | Takanori Nakamura

コラムニスト。神奈川県葉山町生まれ。ファッショングルメやワイン、旅やライフスタイルをテーマに、新聞や雑誌やTVで活躍中。

現在、「世界ベストレストラン50」日本評議委員長も務める。剣道教士7段。

大日本茶道学会茶道教授。著書に『名店レシピの巡礼修業』（世界文化社）、共著に『ザ・シガーライフ』（オータパブリケーションズ）などがある。

林信行 | Nobuyuki Hayashi

ITジャーナリスト。「ステキな21世紀」をテーマに、これからの時代の風景をつくるテクノロジーやデザイン、そして残すべき伝統を取材。ソーシャルメディアや講演、記事やTV/ラジオ番組を通して伝えたり、その知見を元にした企画政策や企業コンサルティングを行う。最近は特にファッション、教育、ヘルスケア、災害対応といった領域に注力。著書・連載多数。ビジネス・ブレークスルー大学講師。

James Dyson Foundation理事、Revolver社社外取締役。

ムラカミカイエ | Kaie Murakami

SIMONE INC.代表、クリエイティブディレクター。三宅デザイン事務所を経て、2003年、ファッショントビューティ分野に特化したプランディングエージェンシー「SIMONE INC.」を設立。国内外多数の企業のデジタル施策を軸としたプランディング、コンサルティング、広告キャンペーンなどを手掛ける。

## ＜記事イメージ＞



澤良宏氏が語るLEXUSの未来の形  
2017.05.17 WED

CULTURE



Text by Fumio Ogawa

VISIONARY



10回目の節目を迎えたLEXUSのミラノ・デザインウィーク  
2017.05.17 WED

CULTURE



Text : Takahiro Tsuchida Photographs : Paola Pansini (ディモーレスタジオ), Masiar Pasquali (フォルマファンタスマ)

VISIONARY



Text by Fumio Ogawa

VISIONARY

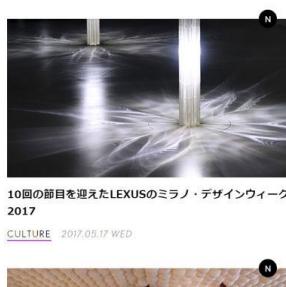


インスタレーションのようなLEXUS 「LC」 の組み立てライン

「作品ではなく作品」。レクサスLCが組み立てられている愛知・豊田市の元町工場の専用ライン。そこで責任者が発した言葉である。

天井から床まで真っ白に塗装した、それ自体がアートのインスタレーション（空間を使った作品）みたいだなあ。[LC] の組み立てラインを見るどますそう思う。

白い空間の中、ゆっくりとベルトに乗って動くLCの車体。アートのようだが、「作品」とは常識をくつがえすほど組み立ての完成度を高めるという意味だそうだ。



二律双生を表したテーマ「LEXUS YET」

デザインのお祭りとして、規模も内容の濃さも世界トップクラスが「ミラノ・デザインウィーク」。なかでも2017年に10回目の開催というLEXUSの展示はつねに注目を集めている。

ミラノの国際見本市会場と市内各所でインスタレーション（空間まで含めたアートの展示）に数多くの業種の企業が参加する。自動車メーカーも熱心だが、とりわけ2005年初参加のLEXUSはどこよりも先進的だ。

LEXUSの展示はいつも大きくて、家具メーカーと同じ国

家具のある空間を通じて伝わってくるもの

イタリアのミラノで毎年4月に開催されるデザインイベントは、「ミラノサローネ」と呼ばれることが多い。ただし正確には、ミラノサローネは郊外のローマ・フィエラで開催される家具見本市の名称だ。今年のミラノサローネは世界各国から千数百社の家具メーカーが出展し、165カ国から34万人以上の入場者があった。またミラノ市内で同時に開催される展示も多く、こちらは家具以外のブランドも自由に出演している。市内のイベントを訪れる人々の数は数計不可能だが、ミラノサローネの数倍になるだろう。この規模のデザインイベントは、世界中でほかに例がない。

CULTURE

2017.05.17 WED

LEXUS

LEXUS